

# 師弟同行

平成27年 6月1日(月)

第 3 号

発行者 相馬 郁夫

教育目標(目指す生徒像)～ 学びとる力 思いやる心 たくましい体 ～

## □地区春季大会 優勝! 剣道男子団体 準優勝! サッカー・柔道男子団体 3位 剣道女子団体・ソフトテニス女子団体・バスケット男子、個人入賞も多数

5月22日(金)～24日(日)、春季体育大会足利地区予選会が行われました。入賞および県大会出場は次の通りです。6月5日(金)～6日(土)に行われる県大会で、市の代表として頑張ります。

- 剣道 男子団体 優勝(県大会) 女子団体 3位
- 女子個人 準優勝(県大会) 男子個人 ベスト8(県大会)
- 柔道 男子団体 準優勝(県大会)
- 男子個人 優勝 2名(県大会)
- 準優勝 2名(県大会)
- 3位 2名
- サッカー 準優勝(県大会)
- バスケット男子 3位(県大会)
- ソフトテニス 女子団体Aチーム 3位 女子団体Bチーム 3位
- 男子団体Bチーム 3位
- 女子個人 3位(県大会) ベスト8(県大会)
- 男子個人 ベスト8(県大会)
- 陸上競技 3年男子100m 優勝 共通男子1500m 優勝
- 共通男子200m 優勝 共通男子3000m 優勝
- 共通女子800m 優勝 共通女子走高跳 準優勝
- 共通女子1500m 3位 1年女子100m 3位
- 1年男子1500m 3位 以上の全員県大会に出場します。
- バドミントン 女子個人シングルス 準優勝(県大会)
- 体操 女子4位(県大会)
- 卓球 女子個人 ベスト8(県大会)



※ 入賞しなかった選手たちもベストを尽くして頑張りました。

## □正しい判断ができる協和中生になろう! / 生徒総会

5月26日(火)生徒総会が本校体育館で行われました。26年度活動報告、決算報告、27年度スローガン、活動方針、活動計画、予算案について全校生徒で審議し全ての議案が承認されました。

その後生徒会からの主体的な提案として、5S活動の呼びかけや、エコキャップ運動などについて提案と連絡がなされました。

尚、今年度の生徒会のスローガン「正しい判断ができる協和中生になろう!」です。



### □生徒総会で生徒諸君に伝えたこと

生徒総会には個人の考えを大切にしようという民主主義の考え方や自分たちの組織は自分たちで運営しようという「自治」の考え方もあります。この考え方をうまく表している言葉にリンカーンの有名な言葉、「人民の、人民による、人民のための政治」があります。これを生徒会に置き換えると「生徒の生徒による生徒のための生徒会活動」となります。みんなが少しでも楽しい学校生活を送れるよう自分たちで考え主体的に自分たちのあり方を決め、決めたことはみんなで大切に守っていこうという考えです。

民主主義の元では一人一人の意見が大切にされなければなりません。しかし、意見が複数ある場合は、どれか一つにしぼる必要があります。このとき、使われるのが「多数決」です。民主主義では、「多数決」とセットで「少数意見の尊重」という言葉があります。少数意見を聞かずに数で押し切ってしまう場合は数の暴力です。少数意見を聞いて充分議論を交わしたとき、気持ちが変わる人が出てきて、少数意見が多数意見になる可能性もあります。この可能性を尊重した上で「多数決」をとることが大切です。そして、充分議論した結果の決定事項には、反対意見を唱えていた人も決定事項に従うのが民主主義のルールです。



## □自分たちの時より立派な無言集会／教育実習生

5月18日(月)から二人の教育実習生が来ました。津田塾大学芸学部英文学科のO. Uさんと東京音楽大学音楽学部器楽科のS. Mさんのお二人です。お二人とも本校の卒業生で英語と音楽の先生を目指しています。

18日の臨時朝会でお二人から挨拶をいただき、生徒会の代表のS. K君が歓迎の言葉を贈りました。朝会終了後無言集会について尋ねたところ、自分たちの時より立派な無言集会であるとのことでした。無言集会の歴史と進歩を感じました。O. U先生の実習期間は2週間なので、すでに実習は終了しています。S. M先生の実習期間は3週間なので現在(6月1日)実習中です。



## □平成27年度の学校評議員

27年度の学校評議員として次の方々が教育委員会より委嘱されましたのでご紹介いたします。小野耕一様(学識経験者)、清水 栄様(福富2丁目自治会副会長、元PTA副会長)、小宮清美様(御厨地区主任児童員)、寺内克典様(御厨地区青少年育成会連絡協議会役員)、永倉保枝様(協和中PTA副会長)です。全員昨年度からの継続になります。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。



## □学業指導とは

昨年度後半から、協和中では「学業指導」に力を入れています。「学習指導」はよく聞くとと思いますが、「学業指導」はあまり聞かないのではないのでしょうか。県の説明をそのまま紹介すると「それぞれの学級を『学びに向かう集団』に高めながら、児童生徒一人一人が自らの力で様々な不適応を解消し社会性を身に付けたり、意欲的に学習活動に取り組んで学力を向上させたりして自己実現(社会的自律)を図っていくための指導・助言のことです。

学業指導を推進するには、『学びに向かう集団づくり』と『子どもが意欲的に取り組む授業づくり』の両側面から取り組み、相互の関連を図ることが大切です。」と説明されています。要するに学習を支える集団の意欲を引き出す環境作りのことです。



## □土曜日の勉強会「ありがとう」「ごめんなさい」／6月の臨時朝会

先々週の土曜日に行った勉強会について「ありがとう」と「ごめんなさい」を言いたいと思います。

まずは「ありがとう」からです。それは「質問教室にたくさん来てくれてありがとう」ということです。1年生27名、2年生33名、3年生42名合計102名の参加者がありました。図書室だけでは入りきれずコンピュータ室やむぎそよの教室まで急遽開けた次第です。

次は、「ごめんなさい」です。補習には合計63名参加し質問教室参加者と合わせると約170名土曜日に来たことになります。これは協和中生の約3人に一人は来たことになります。この約170名の生徒に對した5人の大学生で対応するには無理があったと反省しています。折角土曜日に勉強しに来たのに質の高い指導ができず充分満足して帰ってもらえなかったのが「ごめんなさい」です。

「折角来たのに席がなかった」「ガヤガヤしてうるさくて勉強にならなかった」という声もあったと本校の先生から聞いています。

でも、ガヤガヤしてうるさかったのは、質問教室で、生徒同士が教え合っていたからのようです。大学生には、教え合中で分からないことを質問していたようです。大学生の話では筆問攻めにあって十分対応できなかったということは無かったと聞いています。生徒同士教え合うことは、教わる方も教える方も勉強になるのでとても良いことです。

先日御厨地区の民生員の集まりに参加した際、一人の民生員の方が、土曜日勉強会に参加した生徒から「楽しかったという声を聞きました。頑張ってください。」という励ましの言葉をいただきました。「楽しかった」という感想を持ってくれた生徒がいたことを知ってとてもうれしくなりました。

これからも少しでも質の高い指導ができ、少しでも満足して帰っていきないう工夫していきたいです。次回は期末テスト前の6月27日土曜日です。

最後に、いい話を一つ

コンピュータ室で勉強するのに、キーボードがじゃまになるのでモニター横に立てかけて利用してもらいました。勉強会終了後これを戻さなくてはとコンピュータ室に行ったところ全部元通りに戻っていました。コンピュータ室を担当していた大学生の話では、2、3人の女の子が最後に元通りにしてってくれましたとのことでした。うれしくなりました。誰か分かりませんが有り難うございました。

